

『甲佐町まちづくりプラン』

はじめに

町民の皆さまには、日ごろから町政の推進に対してご理解とご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、令和2年に国内で最初の新型コロナウイルス感染が確認されてから3年5カ月経過し、本年5月から5類へ移行し、あわせて感染対策の見直しがなされることなどで、以前の生活へ戻りつつあることを感じる一方、急激な価格高騰により皆さんの家計や地域経済に大きな影響が及ぼされているところです。

このような中、本町では、感染防止対策として、一昨年度から町内医療機関との協力のもと県内でもいち早く集団接種と個別接種を併用開始することで昨年末にほとんどの方の接種が終了しました。また、価格高騰への緩和対策としては、国の交付金を活用し、子育て世帯や非課税世帯の方々への給付金の支給、農業者や中小企業者の皆さまへの経営支援、町内経済の拡大に向けた独自の消費者ポイント還元事業の実施など、町民の皆さんに寄り添った支援を行ってきました。

また、復興のシンボルとして平成29年度から整備を進めてきた「熊本甲佐総合運動公園」が本年3月にすべて完成し、4年ぶりの開催となる緑川スポーツフェスタとあわせて完成式典を開催し、多くの人に来場いただき、以前のにぎわいが感じられたところです。

さらに、補強・架け替えを遂げて復活した田口橋の平面交差が本年3月に完成し、地域発展につながるものと大いに期待するところです。

このような中、本年度は町政運営4期目の最後の年となります。「第7次甲佐町総合計画」に掲げた「人と自然が共生し、にぎわいを育む安全・安心・快適を実感できるまち」を目指し、将来を見据え、持続可能で誰もが住み続けたいと思えるまちづくりを職員一丸となって進めてまいります。

さて、令和5年度甲佐町予算が3月議会で議決されました。本紙では本年度予算および取り組む主な事業についてお知らせします。

まずは、新規事業としましては、子育て支援策として、子どもたちの夢、チャレンジを応援するために著名人を招いての講演会の開催や白旗小学校の複式学級を解消するための町独自雇用による教職員の配置、乙女小学校の外壁等の改修を行います。また、人口増対策とし、全国的にも課題となっている空き家の利活用調査を実施します。

継続または拡大事業としましては、農業面においては、国の補助金を活用し、町の担い手である新規就農者の経営支援を予定しています。また、安全・安心な生活を確保するために、町道の補修箇所を増やすほか、想定外の豪雨への治水対策として、河川の浚せつ箇所を増やし、引き続き浸水対策事業にも取り組みます。

一般会計としましては、ふるさと甲佐応援寄附金の受け入れ額が増加していることから返礼品などの関連経費が増額していることもあり、昨年度から12.9%増加した約78億6,691万円の予算となりました。町では、必要経費の予算を確保しつつ、それ以外の経常経費を削減し、ふるさと甲佐応援基金や財政調整基金などの貯金を取り崩すことで予算編成を行ったところです。

最後に、町民の皆さんにおかれましては、本年度も変わらぬ町政のご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



甲佐町長 奥名 克美

甲佐町長 奥名 克美

令和5年度甲佐町当初予算の概要

(単位：千円)

予 算 名	予 算 額		
	令和5年度	令和4年度	比 較
一 般 会 計	7,866,906	6,968,789	898,117
国民健康保険特別会計	1,494,512	1,497,556	△ 3,044
介護保険特別会計	1,602,541	1,578,200	24,341
後期高齢者医療特別会計	186,671	179,063	7,608
水道事業会計	319,311	309,293	10,018
甲 佐 町 予 算 総 合 計	11,469,941	10,532,901	937,040

◆全体予算について

一般会計予算は約78億6,691万円で、特別会計等予算を合わせた甲佐町の予算総額は、約114億6,994万円となり、前年度と比較すると約9億3,704万円の増額となっています。

◆一般会計予算について

一般会計予算全般では、ふるさと甲佐応援寄附金の受け入れ額が増加しているため返礼品などの関連経費も増加したことなどにより、予算総額では前年度比約8億9,812万円の増額となっています。

□ 一般会計予算の「歳入」について

町の収入で一番多いものは、国から交付される地方交付税が約23億5千万円で全体の約30%を占め、国庫支出金が11億8千万円で約15%、地方税が約10億3千万円で約13%の順になっています。

□ 一般会計予算の「歳出」について

『目的別』では、福祉関係経費の民生費が約19億5千万円で全体の約25%を占め、町全体の運営経費や財産管理費である総務費が約13億5千万円で約17%、町がこれまで復旧・復興等のために借りたお金の返済に係る経費である公債費が約11億5千万円で約15%、道路整備などの土木費が約8億8千万円で約11%となっています。

『性質別』では、ふるさと甲佐応援寄附金の返礼品代などの物件費が約17%、福祉関係経費の扶助費及び道路整備などの投資的経費がそれぞれ約16%、町が借りたお金の返済にあたる公債費が約15%となっています。